

※ 2016 年度から漁海況情報は年 5 回 (春夏秋冬および年報) の発行とさせていただきます。  
 春号は 4 月, 夏号は 7 月, 秋号は 10 月, 冬号は 1 月ごろ, 年報は 2 月ごろの発行を予定しています。

# 京都府漁海況情報

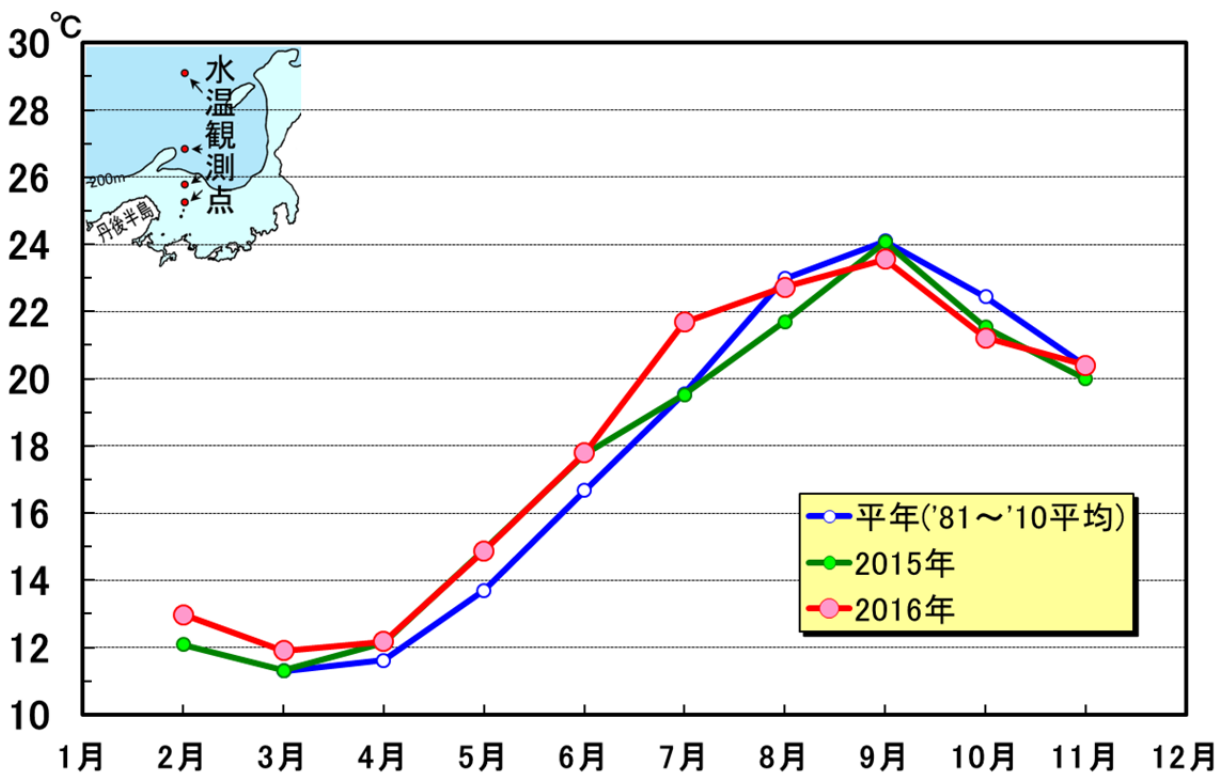
京都府農林水産技術センター海洋センター 研究部  
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>  
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

## 海の状況

### 【現況】

平成 28 年 10~11 月における京都府周辺の表層水温は、「平年よりやや低め」~「平年並み」で推移していました。

京都府沖の表層水温 (0~50m 深平均)



京都沖水温の平年および前年との比較			
	10月	11月	12月
京都沖の表層水温	21.2 °C	20.4 °C	(観測なし)
前年比	-0.3 °C	+0.4 °C	—
平年比	-1.2 °C (やや低め)	±0 °C (平年並み)	—

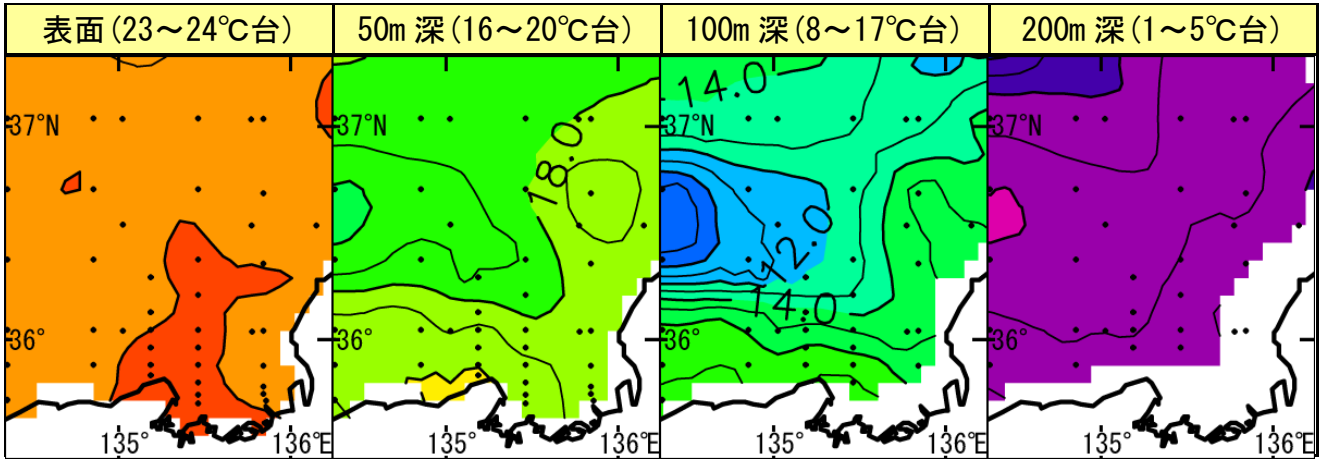
10~12月の天気まとめ	
京都北部周辺の平均気温	平年より高かった。
京都北部周辺の降水量	平年より多かった。

資料元：気象庁

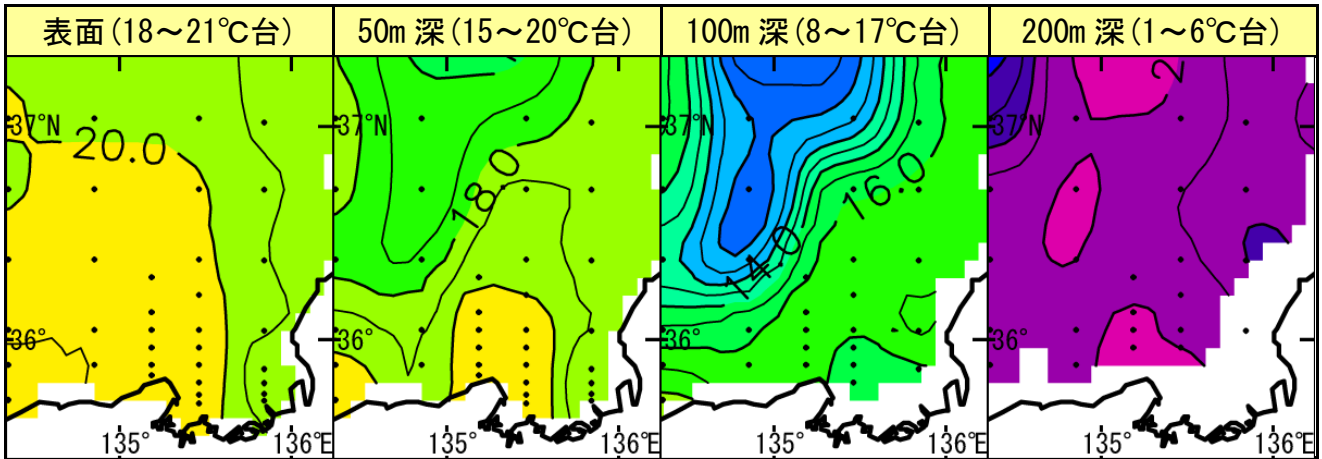
京都府周辺の各層水温(2016年10~12月)

10月上旬

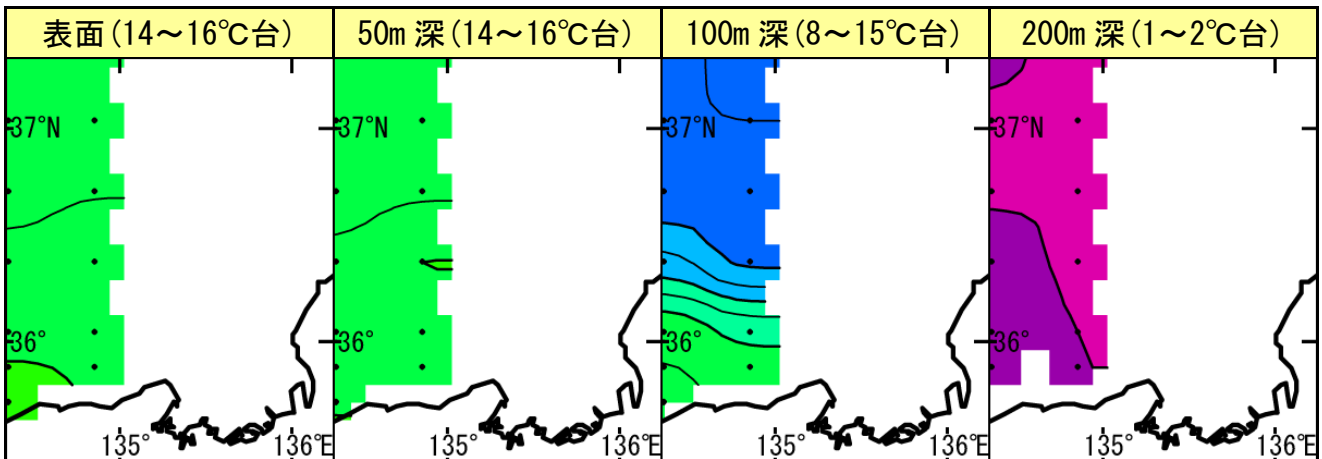
資料元：日本海区水産研究所



11月上旬



12月上旬



【今後の見込み】

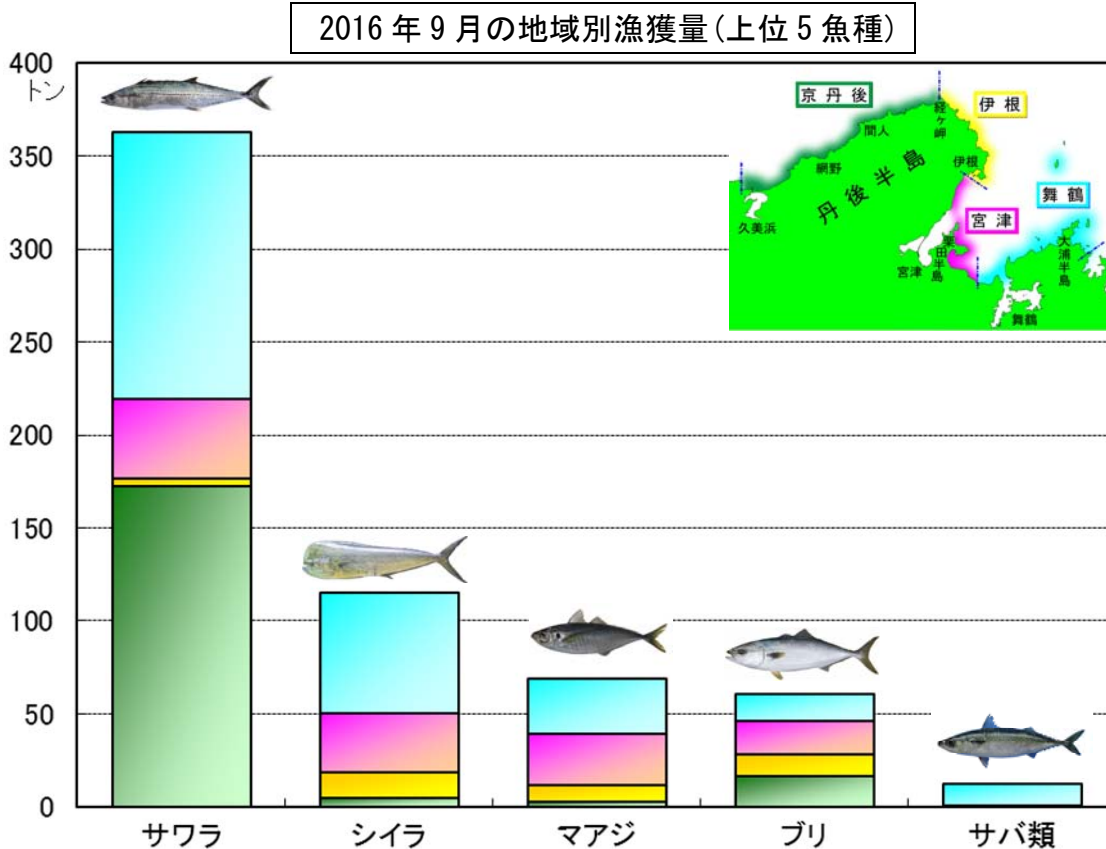
資料元：気象庁

向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	平年より「高め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	平年より「強い」か「かなり強い」で推移する見込み

# 漁模様 2016年9～11月

## 《定置網漁業》【9月】

サワラが平年の1.1倍（前年の1.4倍）、シイラが平年の1.6倍（前年の2.1倍）と好調でした。一方、マアジが平年の7割強（前年の3割弱）、ブリが平年の5割弱（前年の4割強）と低調でした。全体では平年の8割弱（前年の7割弱）と低調でした。



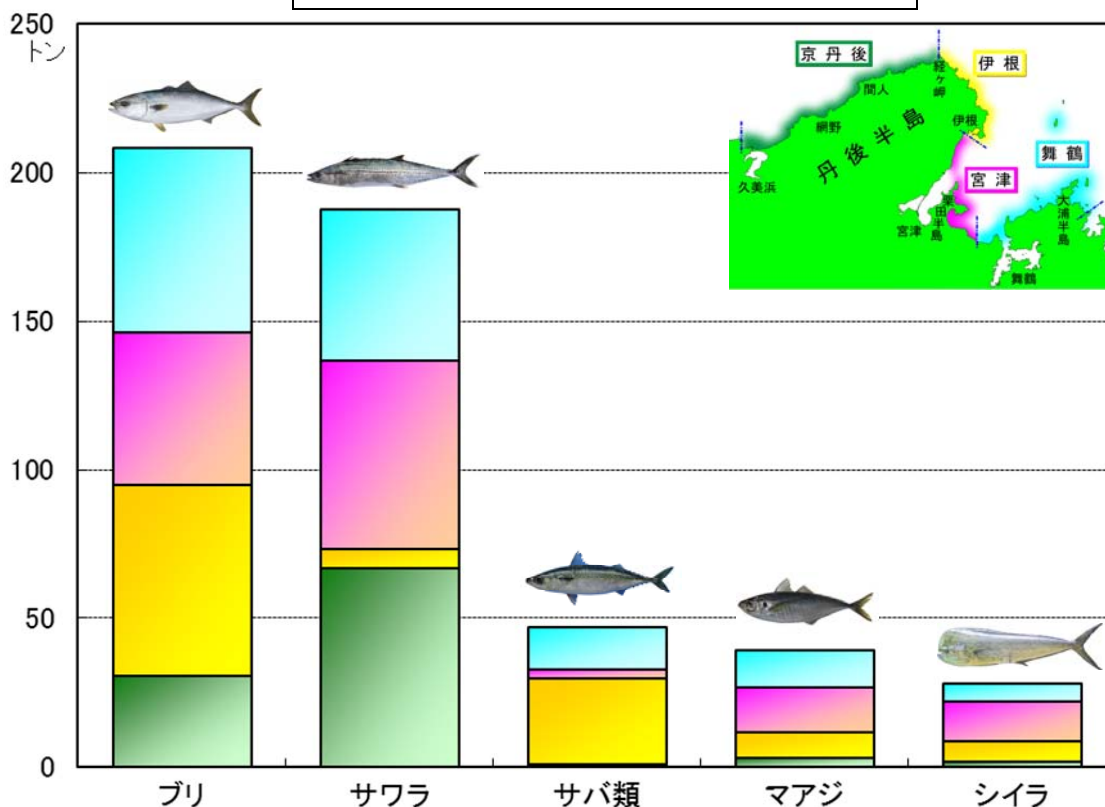
9月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
サワラ	362.6	260.4 (139%)	318.4 (114%)	<サワラ> やなぎ銘柄(体重 0.4kg 未満)が9割以上でした。さわら銘柄(体重 1.0kg 以上 3.0kg 未満), さごし銘柄(体重 0.4kg 以上 1.0kg 未満)が1割未満, さわら大銘柄(体重 3.0kg 以上 特選京鱈)がごくわずかでした。
シイラ	115.0	55.6 (207%)	72.9 (158%)	
マアジ	68.8	275.8 (25%)	93.7 (73%)	
ブリ	60.9	138.8 (44%)	127.2 (48%)	
サバ類	12.2	80.3 (15%)	19.6 (63%)	
イカ類	11.2	9.8 (114%)	22.5 (50%)	<マアジ> 体長は5cm～23cm台でした。
アカカマス	10.5	14.2 (74%)	70.6 (15%)	
シロサバフグ(さんきゅう)	10.0	66.8 (15%)	27.6 (36%)	<ブリ> つばす銘柄がほとんどでした。
タチウオ	6.3	12.4 (51%)	11.6 (54%)	
スズキ	6.3	3.9 (161%)	3.9 (161%)	<イカ類> アオリイカ(秋いか)が6割弱, ケンサキイカ(白いか)が2割強などでした。
その他	47.4	144.1 (33%)	175.0 (27%)	
合計	711.2	1062.1 (67%)	943.0 (75%)	

平年は過去10年平均

## 【10月】

ブリが平年の1.5倍（前年の3.3倍）、サバ類が平年の6.1倍（前年の8.3倍）と好調でした。一方、マアジが平年の5割弱（前年の2割強）、シイラが平年の3割強（前年の7割弱）、イカ類が平年の4割強（前年の5割強）と低調でした。全体では平年の7割強（前年の8割弱）と低調でした。

2016年10月の地域別漁獲量(上位5魚種)



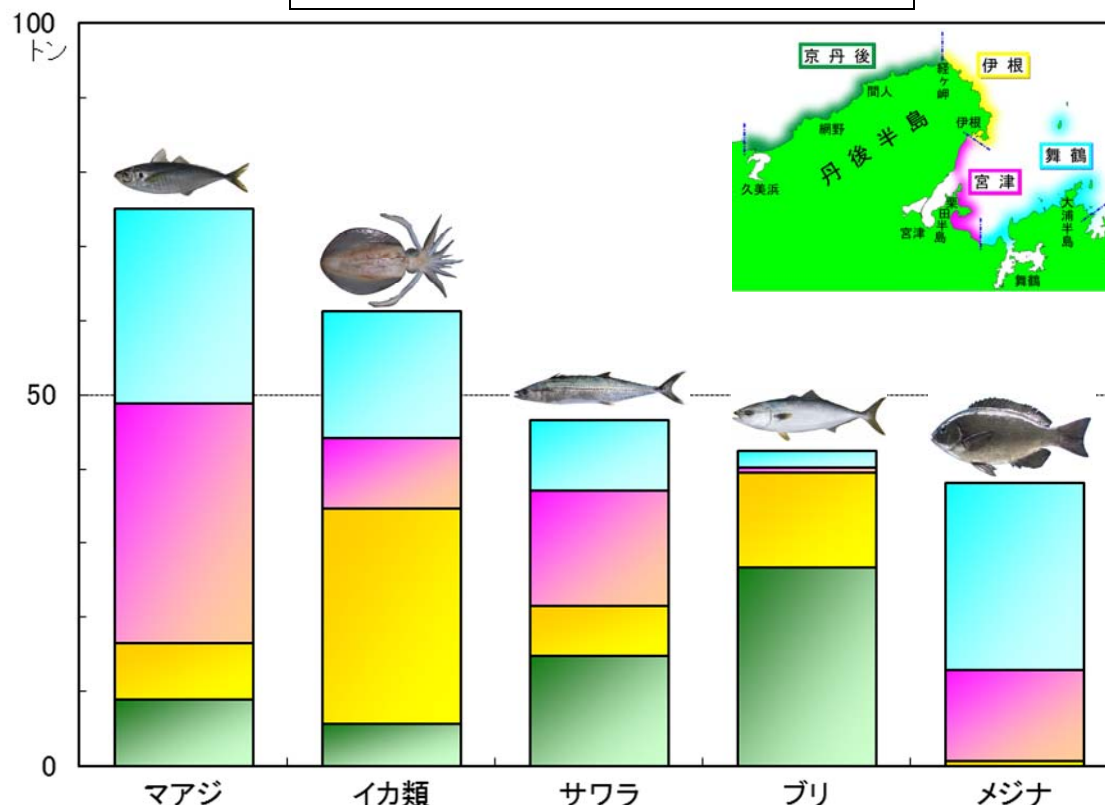
10月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	208.1	62.8 (331%)	143.9 (145%)	<ブリ> つばす銘柄がほとんどでした。
サワラ	187.5	205.8 (91%)	242.3 (77%)	
サバ類	47.1	5.7 (830%)	7.7 (607%)	<サワラ> やなぎ銘柄が8割弱、さごし銘柄が2割弱、さわら銘柄、さわら大銘柄(特選京鱒)はごくわずかでした。
マアジ	39.2	175.6 (22%)	83.1 (47%)	
シイラ	28.0	40.6 (69%)	85.3 (33%)	<マアジ> 体長は5cm~26cm台でした。
カワハギ	22.7	10.7 (212%)	34.5 (66%)	
アカカマス	21.8	30.4 (72%)	56.6 (39%)	<イカ類> アオリイカ(秋いか)が6割強、ソデイカ(たるいか)が2割強などでした。
イカ類	15.4	28.9 (53%)	36.2 (43%)	
メジナ(つかや)	13.3	9.9 (135%)	9.2 (145%)	
スズキ	7.1	4.2 (166%)	4.8 (147%)	
その他	55.7	241.0 (23%)	190.2 (29%)	
合計	645.9	815.7 (79%)	893.7 (72%)	

平年は過去10年平均

## 【11月】

メジナが平年の2.0倍（前年の1.6倍）、カワハギが平年の1.2倍（前年の1.7倍）と好調でした。一方、サワラが平年の2割強（前年の2割強）、ブリは平年の4割弱（前年の9割強）、カタクチイワシが平年の4割弱（前年の2割弱）と低調でした。全体では平年の5割強（前年の5割強）と低調でした。

2016年11月の地域別漁獲量(上位5魚種)



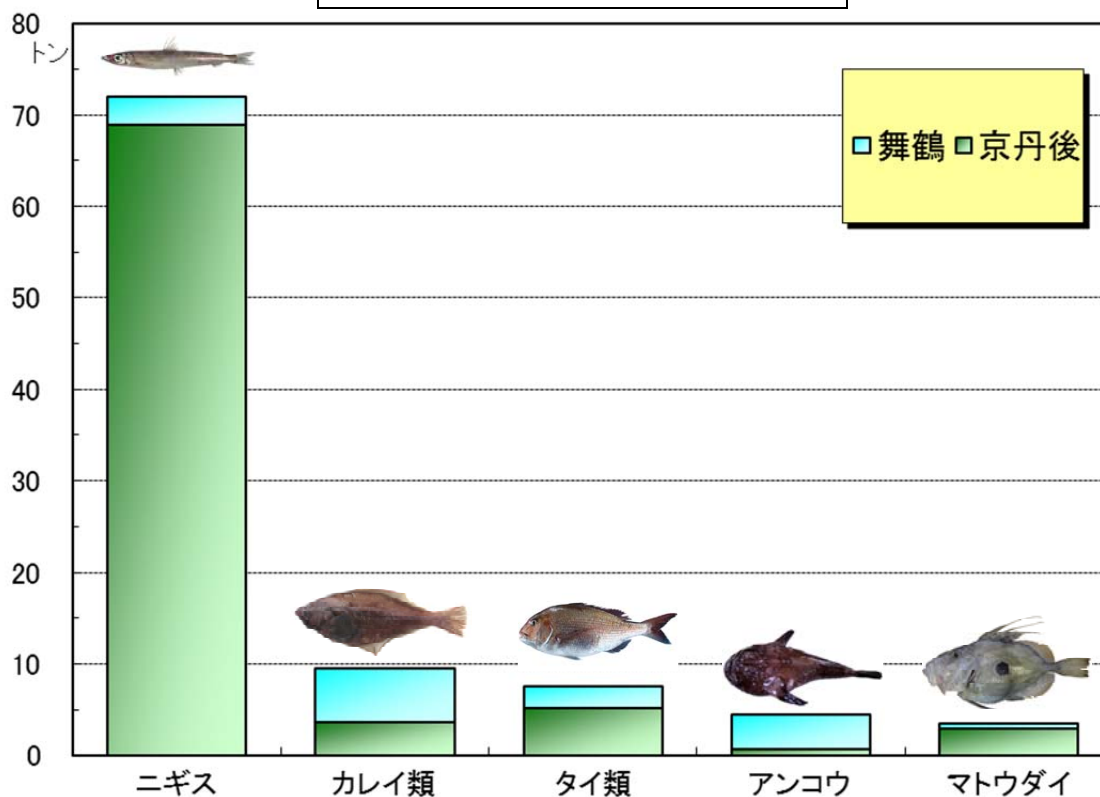
11月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
マアジ	75.0	71.0 (106%)	89.6 (84%)	<マアジ> 体長は7cm~30cm台でした。
イカ類	61.2	48.5 (126%)	79.9 (77%)	<イカ類> アオリイカ(秋いか)が8割弱、ソデイカ(たるいか)が2割弱などでした。
サワラ	46.6	209.8 (22%)	215.7 (22%)	<サワラ> さごし銘柄が6割強、さわら銘柄が2割強、さわら大銘柄(特選京鱈)は2割弱、やなぎ銘柄はごくわずかでした。
ブリ	42.5	46.7 (91%)	118.4 (36%)	<ブリ> つばす銘柄が7割強、ぶり銘柄が1割強、まるご銘柄、はまち銘柄は1割未満でした。
メジナ(つかや)	38.0	23.3 (163%)	19.0 (201%)	
カワハギ	37.6	21.6 (174%)	30.4 (124%)	
カタクチイワシ(たれ)	22.5	132.0 (17%)	61.0 (37%)	
タイ類	18.9	7.6 (250%)	6.9 (272%)	
スズキ	17.8	9.4 (189%)	9.7 (183%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	16.3	3.9 (415%)	7.1 (229%)	
その他	106.9	326.7 (33%)	275.7 (39%)	
合計	483.1	900.4 (54%)	913.3 (53%)	

平年は過去10年平均

# 《底曳網漁業》【9月】

全体の水揚量は、平年の1.1倍(前年の1.2倍)でした。

2016年9月の漁獲量(上位5魚種)

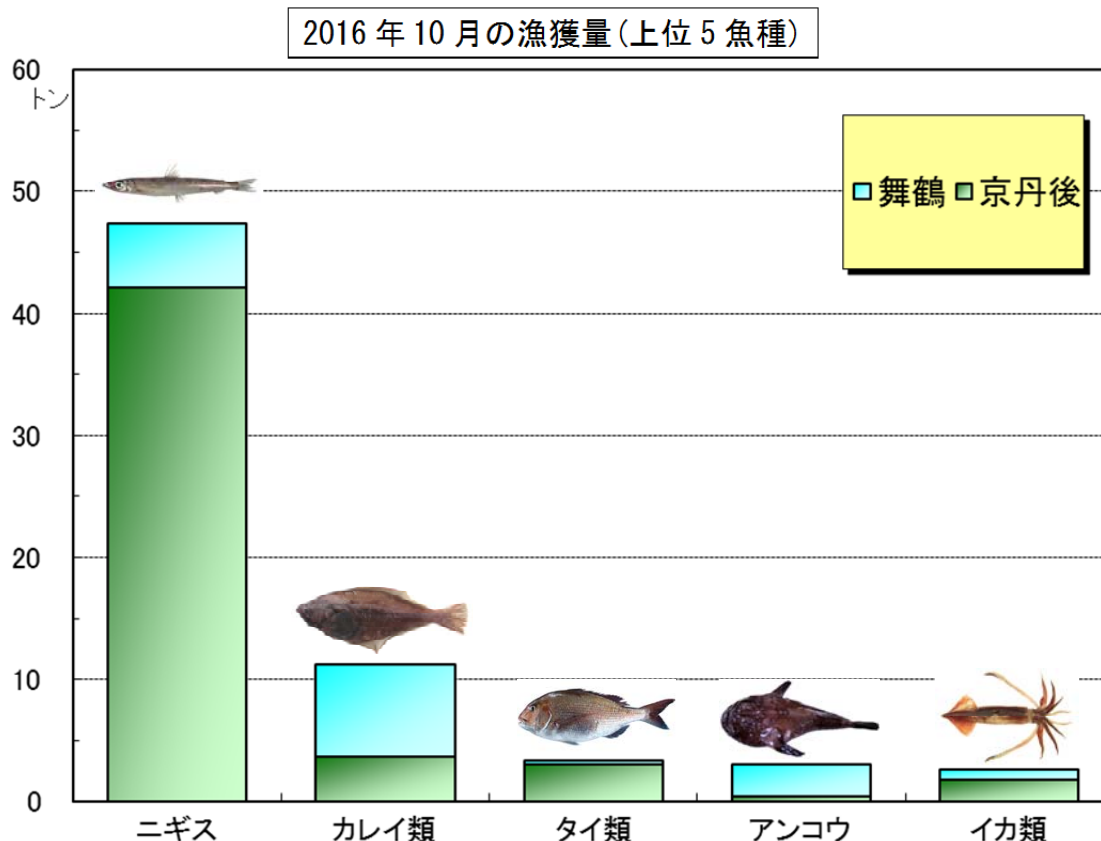


9月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
ニギス(沖キス)	71.9	57.0 (126%)	58.2 (124%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が2割強, ヤナギムシガレイ(ささがれい)が 2割強, ムシガレイ(みずがれい) が2割強などでした。
カレイ類	9.6	10.0 (95%)	17.4 (55%)	
タイ類	7.6	3.3 (228%)	3.2 (240%)	
アンコウ	4.5	5.5 (81%)	10.9 (41%)	
マトウダイ(ばと)	3.5	1.1 (313%)	1.0 (363%)	
イカ類	3.5	4.0 (87%)	2.5 (141%)	
タコ類	2.0	1.2 (173%)	1.9 (105%)	
エビ類	1.4	1.8 (77%)	0.6 (222%)	
タラ類	0.8	1.5 (54%)	0.3 (229%)	
カナガシラ	0.6	0.4 (134%)	0.5 (111%)	
その他	6.9	9.1 (76%)	7.4 (93%)	
合計	112.3	95.1 (118%)	103.9 (108%)	

平年は過去10年平均

# 【10月】

全体の水揚量は、平年並み(前年の1.2倍)でした。

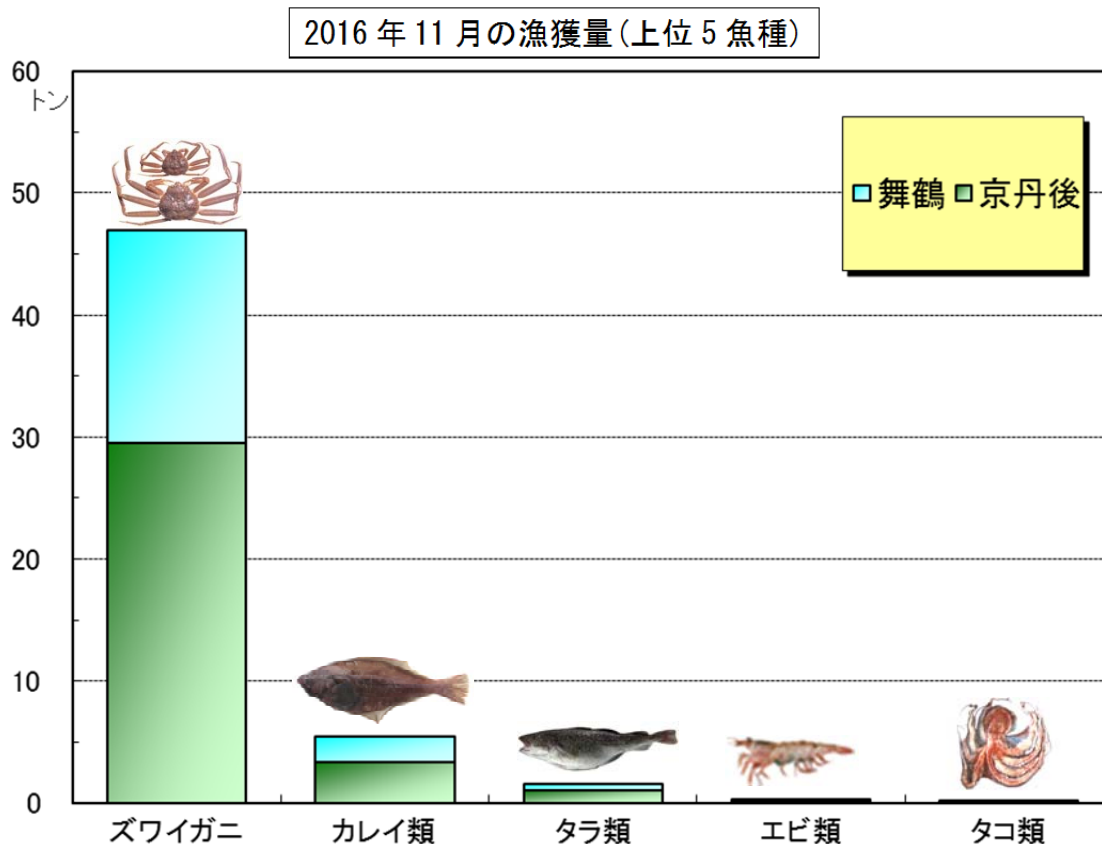


10月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
ニギス(沖キス)	47.4	44.6 (106%)	36.8 (129%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が4割強, ヤナギムシガレイ(ささがれい)が 2割強, ムシガレイ(みずがれい) が2割弱などでした。
カレイ類	11.2	7.1 (159%)	18.8 (60%)	
タイ類	3.3	1.0 (317%)	4.7 (70%)	
アンコウ	3.0	2.8 (106%)	6.9 (43%)	
イカ類	2.6	2.3 (113%)	2.4 (111%)	
マトウダイ(ばと)	2.3	0.7 (348%)	0.9 (241%)	
タラ類	2.2	1.7 (126%)	0.7 (312%)	
タコ類	1.8	1.1 (170%)	2.1 (84%)	
エビ類	1.0	0.9 (106%)	1.2 (83%)	
ナマコ類	0.7	0.3 (268%)	0.0 (2100%)	
その他	3.6	3.2 (113%)	6.4 (56%)	
合計	79.1	65.7 (120%)	81.1 (97%)	

平年は過去10年平均

## 【11月】

全体の水揚量は、平年の8割強(前年の1.1倍)でした。



11月漁獲量(トン) 京都府漁協集計					
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)		備考
ズワイガニ	47.0	32.6 (144%)	46.7	(101%)	<ズワイガニ> 雄ガニ(間人がに・舞鶴かに)が12.5トン、雌ガニ(こっぺ)が34.5トンでした。  <カレイ類> アカガレイ(まがれい)が8割強、クロガレイ(黒かれい)が2割弱などでした。
カレイ類	5.4	7.8 (69%)	16.6	(33%)	
タラ類	1.6	0.7 (234%)	0.4	(426%)	
エビ類	0.2	0.3 (79%)	0.3	(82%)	
タコ類	0.1	0.0 (219%)	0.2	(47%)	
その他	2.4	6.2 (39%)	1.6	(150%)	
合計	56.7	51.3 (111%)	68.7	(83%)	

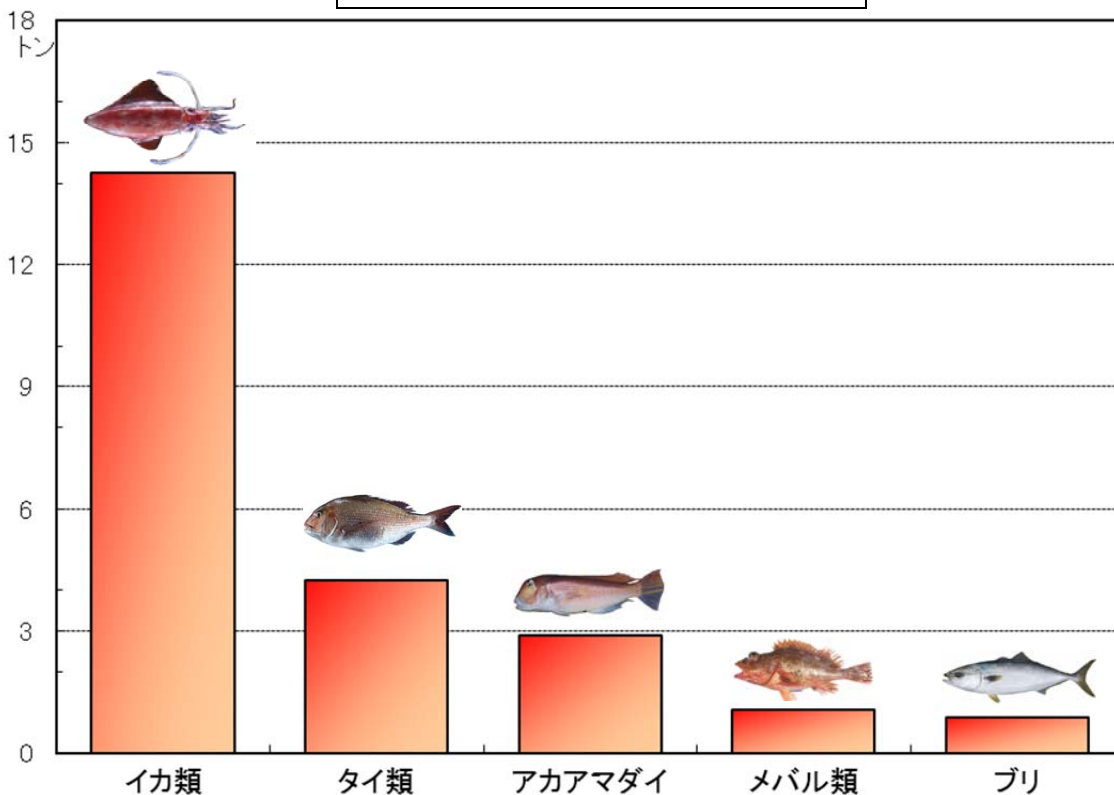
平年は過去10年平均



# 《釣り・はえなわ漁業》【9月】

全体の水揚量は、平年の1.1倍（前年の2.3倍）でした。

2016年9月の漁獲量(上位5魚種)



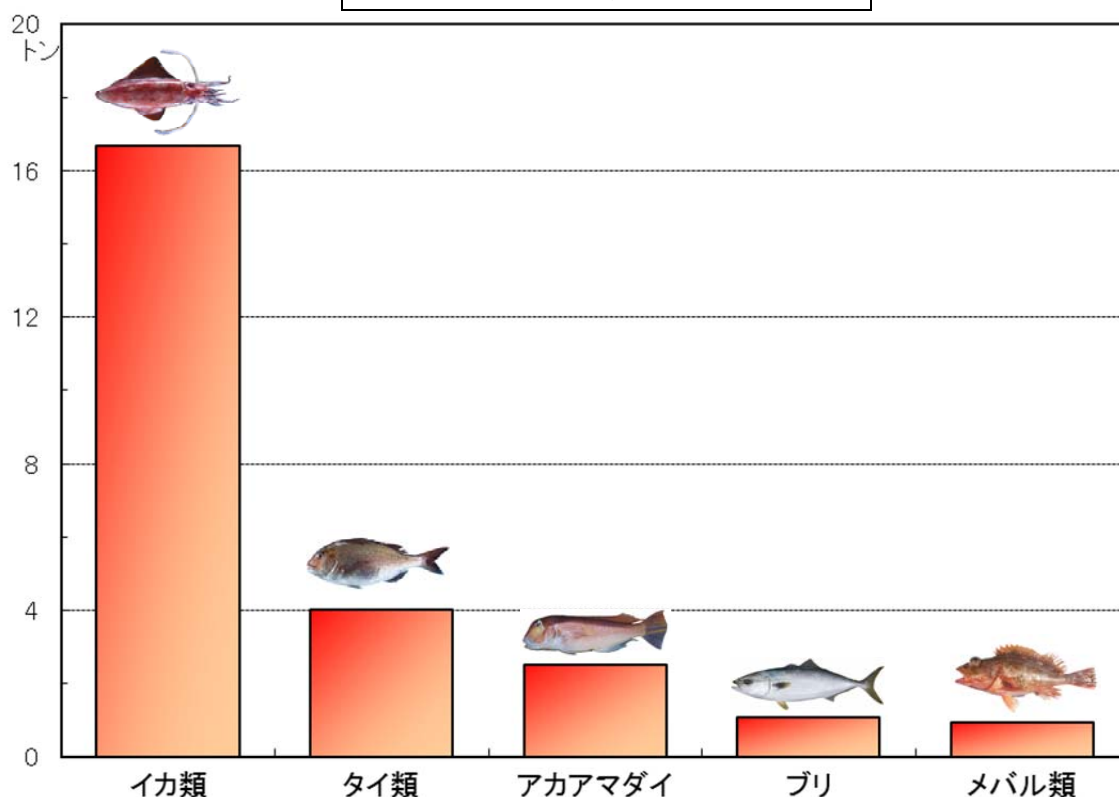
9月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
イカ類	14.2	0.8 (1884%)	10.7 (133%)	<イカ類> ほぼ全てソデイカ(たるいか)でした。
タイ類	4.3	3.7 (115%)	4.2 (100%)	
アカアマダイ(ぐじ)	2.9	1.8 (157%)	2.6 (109%)	
メバル類	1.1	1.0 (110%)	0.8 (135%)	
ブリ	0.9	1.0 (88%)	0.8 (110%)	
ヒラマサ	0.4	0.3 (166%)	0.1 (527%)	<タイ類> マダイが6割強, キダイ(れんこ鯛)が3割強などでした。
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.4	1.2 (33%)	1.1 (34%)	
メジナ(つかや)	0.2	0.1 (236%)	0.0 (560%)	
サワラ	0.1	0.3 (30%)	0.8 (12%)	
マアジ	0.1	0.1 (60%)	0.3 (21%)	
その他	0.6	0.6 (107%)	1.5 (40%)	
合計	25.1	10.8 (233%)	23.0 (109%)	

平年は過去10年平均

## 【10月】

全体の水揚量は、平年の9割（前年の2.5倍）でした。

2016年10月の漁獲量(上位5魚種)



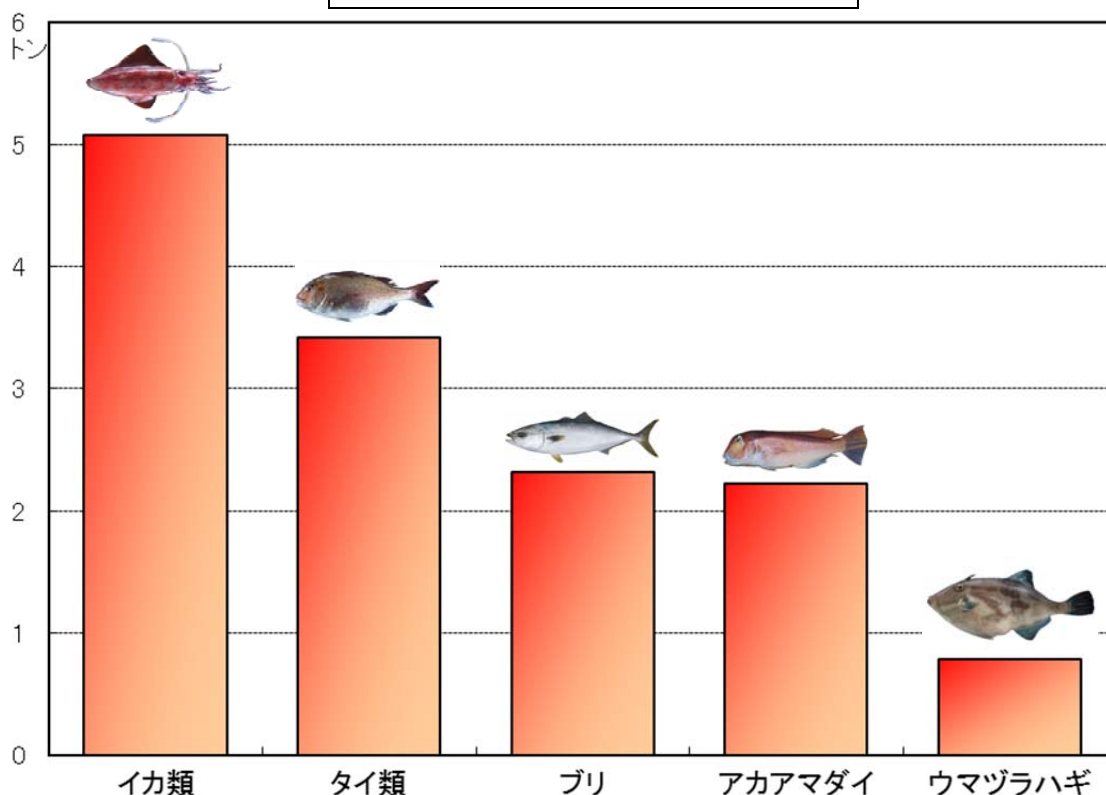
10月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
イカ類	16.7	1.2 (144%)	17.2 (97%)	<イカ類> ソデイカ(たるいか)がほとんどで、アオリイカ(秋いか)がごくわずかでした。
タイ類	4.0	3.9 (104%)	4.0 (100%)	
アカアマダイ(ぐじ)	2.5	2.0 (124%)	2.7 (93%)	
ブリ	1.1	1.3 (80%)	1.3 (83%)	
メバル類	1.0	0.7 (147%)	0.6 (162%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.8	0.4 (199%)	1.4 (59%)	<タイ類> マダイが7割弱、キダイ(れんこ鯛)が3割強などでした。
ヒラマサ	0.4	0.0 (772%)	0.1 (279%)	
サワラ	0.3	0.3 (85%)	1.1 (25%)	
メジナ(つかや)	0.2	0.2 (144%)	0.1 (199%)	
スズキ	0.1	0.1 (105%)	0.1 (173%)	
その他	0.9	1.2 (75%)	2.5 (35%)	
合計	27.9	11.3 (247%)	31.0 (90%)	

平年は過去10年平均

## 【11月】

全体の水揚量は、平年の8割弱（前年の1.2倍）でした。

2016年11月の漁獲量(上位5魚種)



11月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
イカ類	5.1	1.0 (519%)	10.7 (47%)	<イカ類> ソデイカ(たるいか)が9割強などでした。
タイ類	3.4	3.8 (91%)	2.6 (129%)	
ブリ	2.3	3.2 (72%)	1.5 (153%)	
アカアマダイ(ぐじ)	2.2	2.4 (94%)	2.4 (93%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.8	0.7 (106%)	0.6 (126%)	
メバル類	0.7	0.8 (77%)	0.4 (149%)	<タイ類> マダイが7割強, キダイ(れんこ鯛)が3割弱などでした。
メジナ(つかや)	0.5	0.8 (66%)	0.2 (267%)	
サワラ	0.4	0.4 (110%)	1.1 (37%)	<ブリ> まるご銘柄が6割強, ふり銘柄が2割強, つばす銘柄が1割強, はまち銘柄がごくわずかでした。
ヒラマサ	0.2	0.1 (218%)	0.1 (168%)	
マグロ類	0.1	0.0 (436%)	0.2 (56%)	
その他	1.8	1.1 (153%)	3.2 (55%)	
合計	17.5	14.3 (122%)	23.1 (76%)	

平年は過去10年平均